

# メールクライアントSylpheedと メールライブラリLibSylphのご紹介

SRA OSS, Inc. Japan  
技術開発部 山本 博之  
<yamamoto@sraoss.co.jp>

# Sylpheedとは

- GUIベースの電子メールクライアント(メールソフト)
- Unix、Mac OS X、Windowsなど多数の環境で動作
- SMTP、POP3、IMAP4rev1など基本的なプロトコルはすべて対応
- SSL、PGP(GnuPG)に対応
- 迷惑メールフィルタプログラムとの連携機能
  - bsfilter、bogofilterに標準で対応
- 強力なフィルタリングと検索機能
- オープンソース(GPLに基づいて配布)

# Sylpheedの歴史

- 1999年9月開発スタート
- 2000年1月 初公開(0.1)
- 2004年12月 1.0リリース
- 2005年7月 2.0リリース
  - GTK+ 2.x対応
- 2006年2月 2.2リリース
  - Windows対応
- 2006年9月 サービスをSRA OSSに移転
- 現在は1ヶ月で約1万件のダウンロード回数
  - 2.2.0リリース以降6万件程度

# Sylpheed開発に至った経緯

- 1999年当時、Linux上で使いやすいGUIベースのメールソフトが存在しなかった
- Emacsベースのものはあったが、初心者には敷居が高く性能にも問題あり
- プログラミングの勉強も兼ねて開発を開始
- LinuxのGUIメーラとしての標準的な地位を獲得

# Sylpheedの目指すもの

- 初心者から上級者まで幅広く使いやすい
- 洗練されたユーザインタフェース
- 軽快な動作
- 高い信頼性
- 標準(RFC)に可能な限り準拠
- シンプルさと多機能の両立
- 高い柔軟性
  
- ユーザ側の視点に立った開発を目指す

# Sylpheedの構造

- すべてC言語で記述
- GUIツールキットにGTK+ 2.xを利用
  - GLib、GTK+により環境の違いを吸収
- コア部分はライブラリとしてUIから独立(LibSylph)
- オブジェクト指向的設計
- 機能別にモジュール化
- メッセージの保存形式として基本的に1メール1ファイルのMHを採用
  - データが壊れにくい(ウィルススキャンなど)
  - MewやWanderlustと共存可能

# 開発体制

- Subversionでソースツリーを管理
- コミット権があるのは山本のみ
- 1～2ヶ月間隔程度でリリース
  - 毎月特定の日(29日)のリリースが目標
  - セキュリティfixや作者の都合などでこれ以外の日にリリースすることも
- 安定版・開発版ブランチ
- バグ報告やパッチ、翻訳等による貢献者が多数存在
- 送られてきたパッチは
  - 変更点を検討し、問題点があれば修正して本体にマージ

## 開発体制(2)

- Sylpheed-Claws
- Sylpheedから派生したプロジェクト
- 元々は新機能のテストを行うための実験ブランチ
- 海外の開発者が多数参加
- 現在は独立したプロジェクトに
- 意欲的な機能が多数盛り込まれている
- 有用な機能や変更点はSylpheed本体にマージ
- 全体としてまとまりに欠ける、方向性がマニアックすぎるといった理由から、これをSylpheedの開発のメインに置くのは避けた



## コミュニティ

- 基本的にMLで情報交換
  - 日本語と英語のMLが存在
- Wikiでリアルタイムな情報の提供と管理
- Web掲示板

## 製品への応用例

- Sony PlayStation2向け組み込みメールクライアントライブラリ
- Nokia社製携帯情報端末向けメールクライアントライブラリ
- 各種Linuxディストリビューションでの採用
  - Vine Linux、MLD、Momonga等
  - Fedora CoreにはExtraとして採用

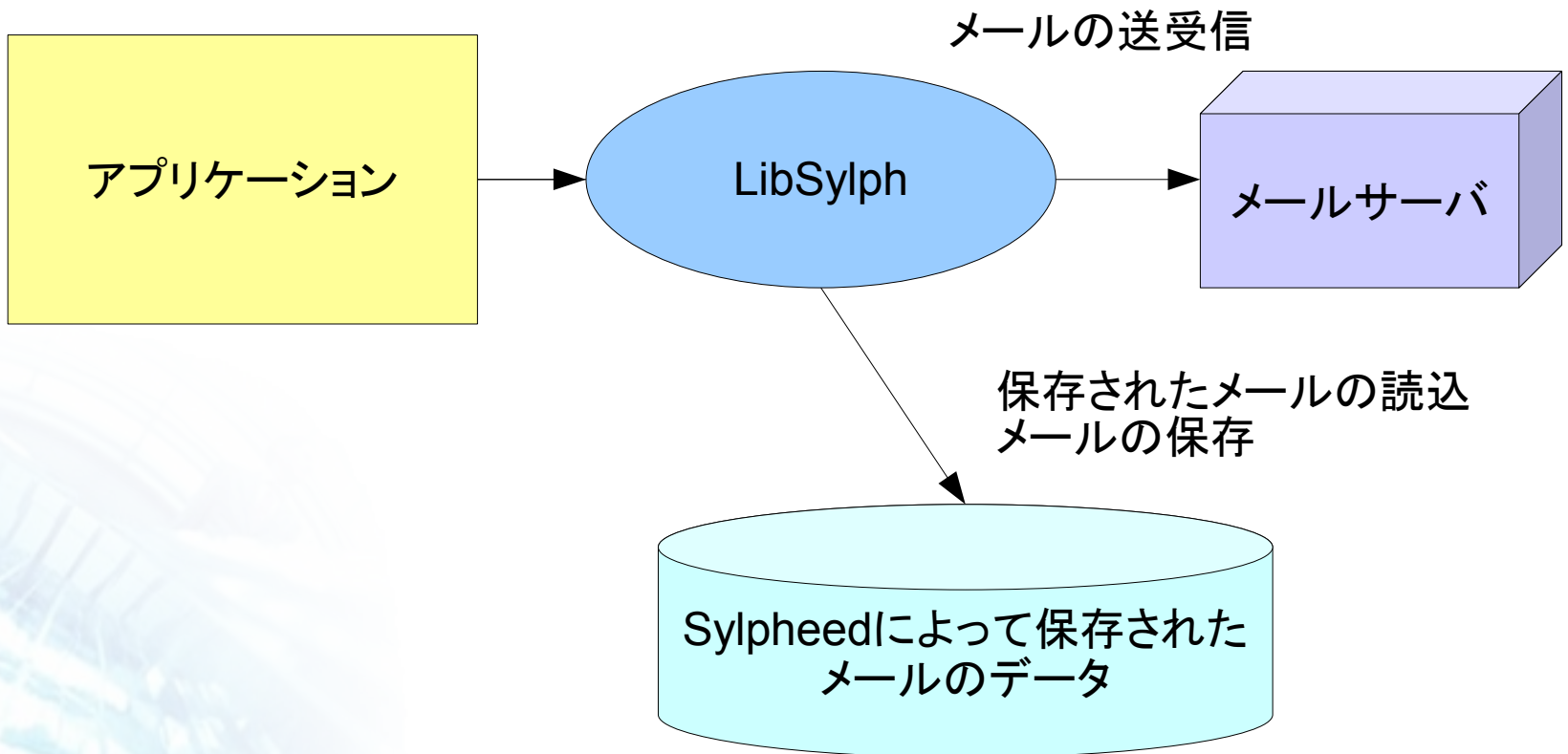
## 将来の目標

- UIの洗練度の向上
- 内部構造のブラッシュアップ
- マルチスレッド化
- 高速化
- Windows版の完成度向上
- コアのライブラリ化の完成
- プラグイン機能の実装による拡張性の強化
- S/MIMEへの完全対応
- DBとの連携
  - 検索の強化やストレージの一元化

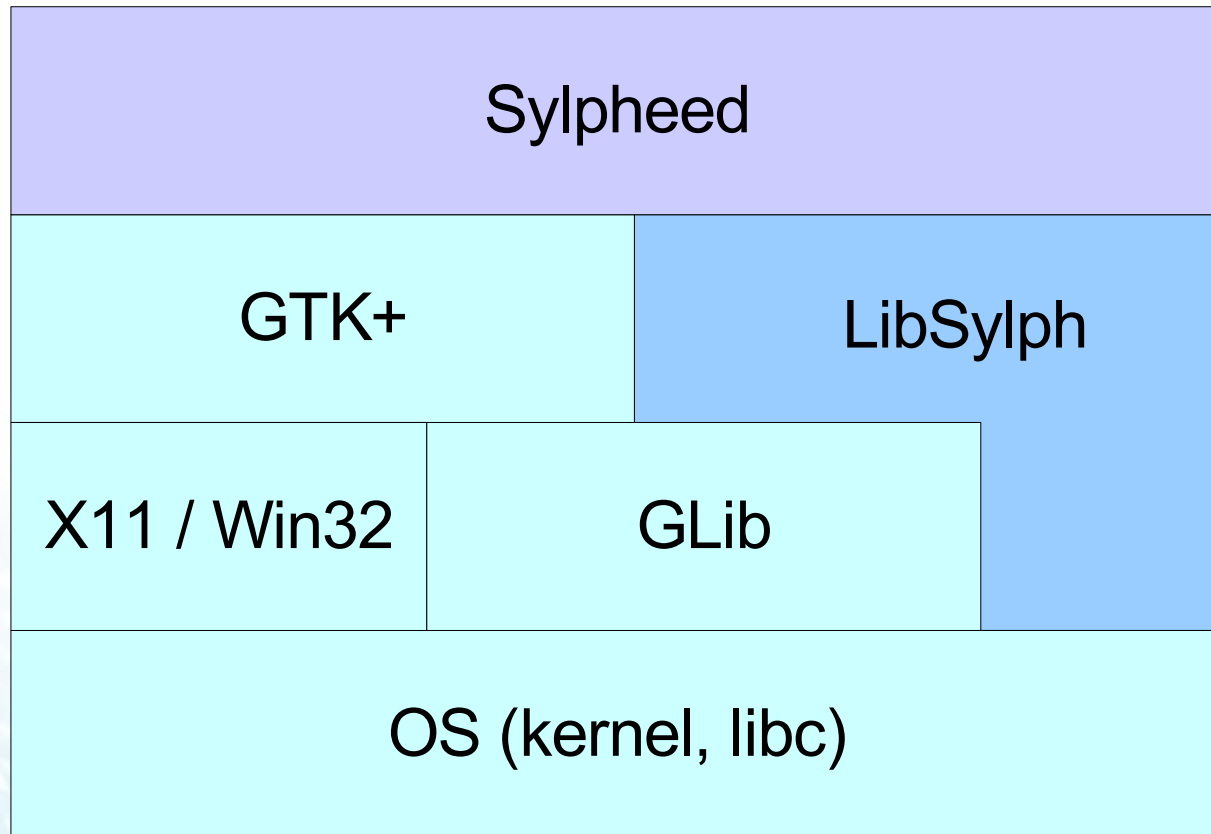
# LibSylphとは

- Sylpheedのコア部分をライブラリとして独立させたもの
- アプリケーションからSylpheedの機能を使える
- UIをかぶせることでメールソフトを作成可能
- 特に組み込み用途に
- すでに実績あり
  - SONY PlayStation2
  - Nokia

# LibSylphの利用例



# SylpheedとLibSylphの構成



## LibSylphの特徴

- 全てCで記述
- コンパクトで高速
- メール関連の豊富な機能が使える
- Sylpheedのエンジンとして長年の実績がある
- GLibの利用により動作環境の違いを吸収
- 内部コードはUTF-8で統一
- 高度な日本語処理
  - 自動判別、機種依存文字にも対応
- LGPL(GNU Lesser General Public License)に基づいて配布

## LibSylphの機能(メール関連)

- 各種プロトコル対応(POP3, SMTP(ESMTP), IMAP4rev1, NNTP(NetNews))
- メールボックス、フォルダを抽象的に扱うAPI
- 電子メールのメッセージを抽象的に扱うAPI
- RFC 2822形式のメッセージの解析API
- MIME処理API(添付ファイルなど)
- ユーザアカウントの管理
- フィルタリング(振り分け)
- 仮想フォルダ(検索フォルダ)
- MH形式のメールボックスの入出力
- Unix mbox形式ファイルの入出力



## LibSylphの機能(汎用的な機能)

- 抽象化されたネットワーク通信(SSL, TLS対応)
- iconvベースの文字コード変換
- 日本語文字コードの自動判別
- 各種テキスト処理
- 各種ファイルI/O処理
- 簡易XMLパーサ(逐次処理／ツリー出力)
- 簡易HTMLパーサ(HTMLをテキストに変換)
- 設定ファイル(INI形式)の入出力

## 対応プラットフォーム

- Linux
- Windows 2000/XP (Vista)
- その他Unix系OS(未検証だがおそらく動作可能)
  - Solaris
  - FreeBSD
  - Mac OS X
- 将来対応を検討
  - Windows Mobile

## 現状の問題点

- APIの命名規則が不完全
- エラーの返し方が統一されていない
- その他全般的に使いにくい部分
  - APIが不足・使い方が複雑など
- ドキュメントが不足
  - これが一番重要
- これらの改善が今後の課題

# リリーススケジュール

- 8月 設計
- 9月 実装
  - 中旬～下旬  $\alpha$  版公開
- 10月 リリース
  - 上旬  $\beta$  版リリース
  - 下旬 正式リリース(1.0)

## 参考URL

- Sylpheed ホームページ
  - <http://sylpheed.sraoss.jp/>
- SRA OSSによる開発支援に関するプレスリリース
  - <http://www.sraoss.co.jp/company/press/2006/0906.php>